



**2011年度 上期決算説明会**

**2011.11.22**

**明治ホールディングス株式会社**

1. 11年度(上期) 連結決算概要
2. 11年度(通期) 連結業績見通し
3. 「2020ビジョン」の達成に向けて



## 1. 11年度(上期)連結決算概要

# |(1) 11年度計画の再確認



(単位:億円)

		10年度	11年度
		実績	当初計画
明治HD 【連結】	売上高	11,110	10,930
	営業利益	299	210
	経常利益	304	220
	当期純利益	95	100

食品	売上高	9,888	9,800
	営業利益	223	138

医薬品	売上高	1,242	1,258
	営業利益	75	68

(注1)セグメントの計画値には 消去又は全社は含まれない

(注2)事業再編に伴う不動産事業の管理体制の変更により、11年度より不動産賃貸の収益費用の表示方法を変更。遡及適用後の10年度営業利益 299億円には、遡及適用による差異 11億円が含まれる

(注3)11月10日に修正計画を発表。詳細は「P.13 連結業績見通し」に掲載

## 当初計画の前提

- 3月11日大震災の影響甚大
- 時間のない中での計画値の修正作業
- 各カテゴリーの見直し未了  
(変動指標 極めて多岐)
- 市乳部門を中心として
  - 4~6月 失地回復フェーズ
  - 7~9月 地ならしフェーズ
  - 下期~ 通常ベースへの復活フェーズ

## （2）連結業績（上期）

meiji

（単位：億円）

	11年度 上期				
	実績	前年同期比		当初計画比	
		（増減率）	（増減額）	（増減率）	（増減額）
売上高	5,481	△2.1%	△116	+4.0%	+211
営業利益	74	△58.9%	△106	+34.8%	+19
経常利益	86	△54.8%	△105	+23.8%	+16
四半期純利益	23	△74.8%	△70	+18.0%	+3

（注）当初計画は5月12日発表

（参考）連結財務諸表等は「P.37 参考資料」に掲載

- 前年同期比では微減収、大幅減益
- 当初計画比では達成も、利益上乘せ不十分
- 営業利益率は大幅悪化の業績結果

# (3) セグメント別業績（上期）



（単位：億円）

		11年度 上期				
		実績	前年同期比		当初計画比	
			（増減率）	（増減額）	（増減率）	（増減額）
食品	売上高	4,905	△2.4%	△120	+3.2%	+149
	営業利益	26	△79.6%	△103	△31.7%	△12
医薬品	売上高	585	+1.0%	+5	+1.5%	+8
	営業利益	43	△10.6%	△5	+208.6%	+29

- 食品：
  - ・売上高は、前年同期比では減収だが、当初計画を上回る着地
  - ・営業利益は、乳製品の品種構成悪化により大幅減益、計画未達
- 医薬品：
  - ・新薬・ジェネリック医薬品の伸長により増収
  - ・営業利益は前年同期比減も、計画対比では上乘せ（研究開発費由来）

# (4) 食品 セグメント内 各事業の実績



## ① 乳製品事業 (牛乳類、ヨーグルト、飲料、チーズ、バター、業務用乳製品等)

(単位:億円)

11年度 上期	売上高			営業利益		
	実績	当初計画比	(参考) 前年同期比	実績	当初計画比	(参考) 前年同期比
乳製品	2,900	Δ0.2% (Δ6)	Δ7%	16	Δ21.4% (Δ4)	Δ78%

### 業績のポイント

#### <売上高>

- 市乳: 震災後、8月までに生産能力回復  
主力ブランドを中心に売上・シェアともに回復
- 乳食品: 市販用ナチュラルチーズや、新商品「オフスタイル」が寄与した  
マーガリンなどが好調

#### <営業利益>

ヨーグルト(特にプロビオ)の回復遅れにより  
前年同期比、当初計画比とも大幅悪化

(注1) 当初計画は5月12日発表

(注2) 当初計画値および実績ともに、消去前の単純合算数値

(注3) 食品セグメント下の各事業の業績については、

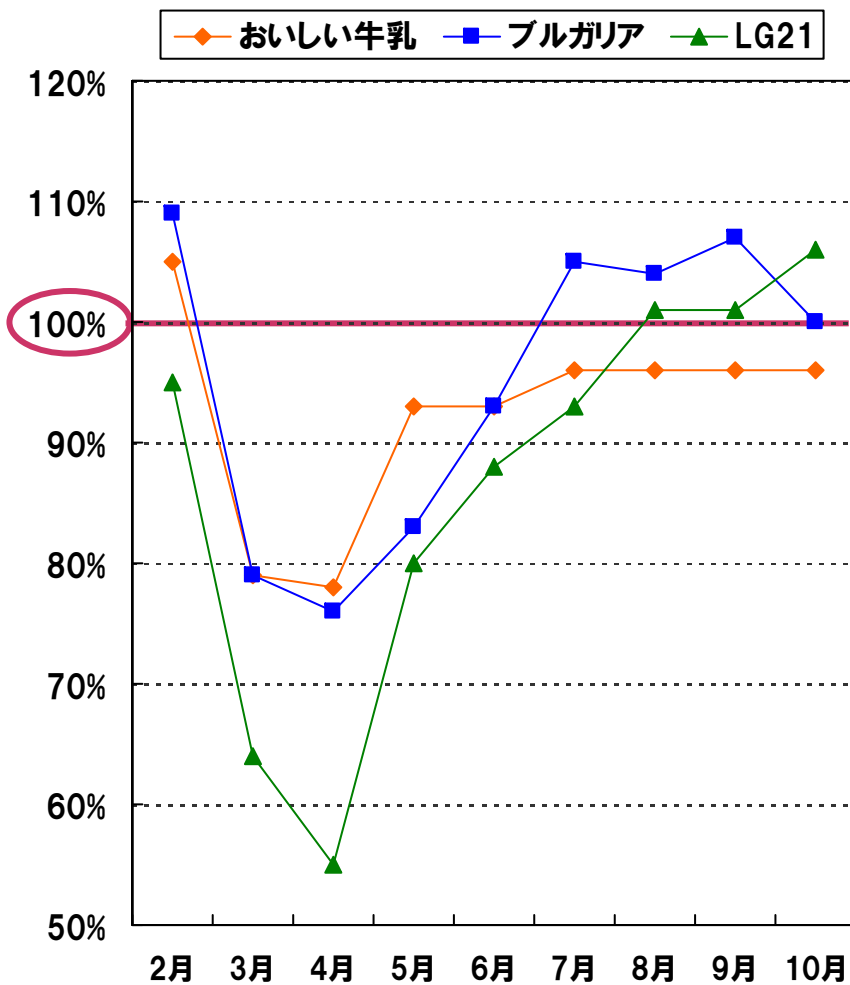
今第2四半期より当社試算に基づき【参考前年同期比】を追加

※以下、P.10まで上記の注意事項は同一とする

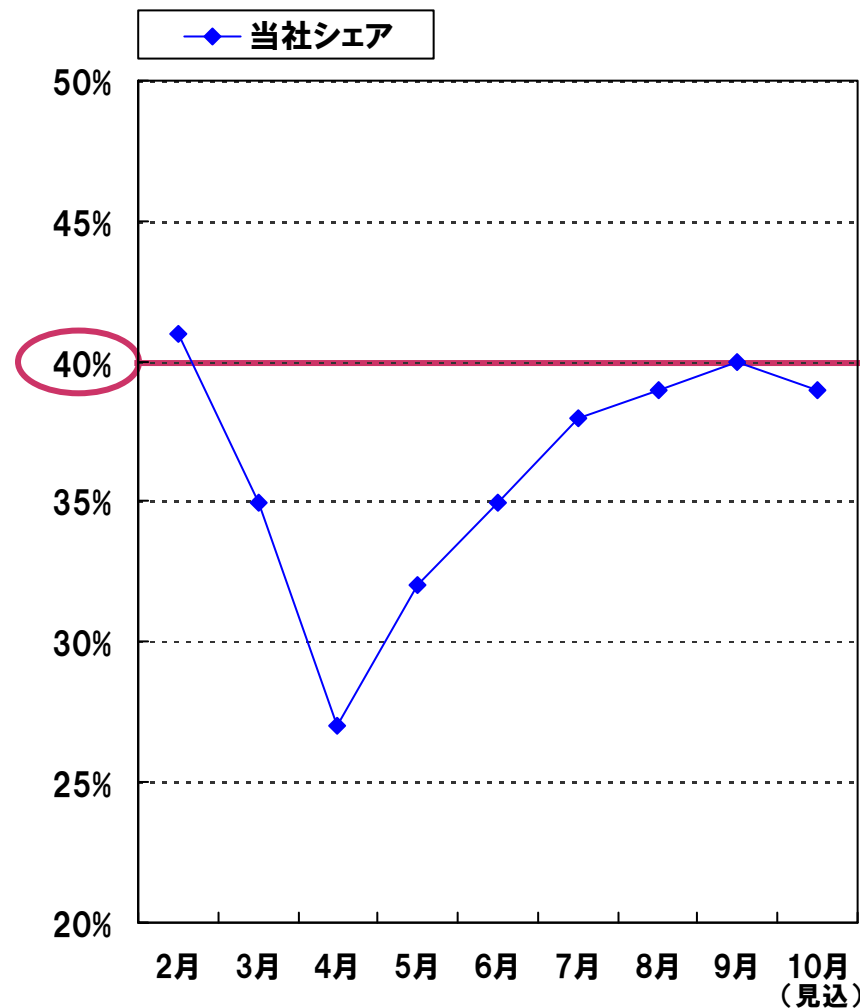
# (4) 食品 セグメント内 各事業の実績



【乳製品】主力ブランド月次売上 前年同月比推移



【乳製品】ヨーグルトシェア (当社調べ)





# (4) 食品 セグメント内 各事業の実績



## ②菓子事業 (チョコレート、ガム、キャンデー、輸入菓子、アイスクリーム、スイーツ、業務用製菓・食材)

(単位:億円)

11年度 上期	売上高			営業利益		
	実績	当初計画比	(参考) 前年同期比	実績	当初計画比	(参考) 前年同期比
菓子	1,455	+6.9% (+93)	+3%	6	+67.0% (+2)	△76%

### 業績のポイント

#### <売上高>

- 菓子：夏場の気候に天候不順の要素も加わり2Qは苦戦するも、1Qの伸びが上期実績に寄与
- デザート：アイスクリームは前年猛暑の反動減が予想されたが、ほぼ計画どおりの着地

#### <営業利益>

計画達成とはいえ、原材料高もあって前年割れとなる

# (4) 食品 セグメント内 各事業の実績



## ③健康栄養事業 (スポーツ栄養、健康機能、食品、OTC、流動食、病態食、粉ミルク等)

(単位:億円)

11年度 上期	売上高			営業利益		
	実績	当初計画比	(参考) 前年同期比	実績	当初計画比	(参考) 前年同期比
健康栄養	595	△5.6% (△35)	△8%	2	△69.3% (△6)	△85%

### 業績のポイント

#### <売上高>

- 健康 : 「アミノコラーゲン」「ザバス」などの主力品が好調に推移
- 栄養 : 粉ミルクは需要構造の変化に加え、震災直後のまとめ買いの反動などにより苦戦。

2ケタ成長が続いた流動食は、生産・供給の支障により成長が鈍化

#### <営業利益>

想定以上の栄養の不振が、営業利益低迷の最大要因

# (5) 連結営業利益 増減分析(上期)



(単位:億円)

	上期実績	(セグメント内訳)			当初計画
		食	薬	他	
2010年度 上期	180	130	48	2	180
売上変動由来	△57(注2)	△65	+8	—	△50
原材料調達コスト	△23	△23	—	—	△15
連結子会社	△8	△8	0	—	△13
減価償却費	△2	△2	—	—	△2
その他	△17(注3)	△7	△13	+3	△30
広告宣伝費	+1	+1	—	—	△15
コスト増減	0(注4)	0	0	—	0
2011年度 上期	74	26	43	5	55

(注1) 当初計画は5月12日に発表

(注2) 主な内訳: 【食品】 売上減による利益減△34 品種構成悪化△31  
【薬品】 売上増による利益増+8

(注3) 主な内訳: 【食品】 事業再編関連費用△4 その他△3

【薬品】 研究開発費△7 為替△4 その他△2

(注4) 主な内訳: 【食品】 生産効率化+6 販促費効率化+6 物流コスト△11 その他△1

【薬品】 原価率改善、製造間接費減+2 販売費増△2



## **2. 11年度(通期)連結業績見通し**

# |(1) 連結業績見通し



(単位:億円)

	11年度								
	上期	下期			通期				
		前年同期比	当初計画比	(修正計画)	前年同期比	当初計画比	(修正計画)	前年同期比	当初計画比
売上高	5,481	Δ2.1% (Δ116)	+4.0% (+211)	5,679	+3.0% (+166)	+0.3% (+19)	11,160	+0.5% (+49)	+2.1% (+230)
営業利益	74	Δ58.9% (Δ106)	+34.8% (+19)	136	+14.1% (+16)	Δ12.3% (Δ19)	210	Δ29.9% (Δ89)	±0% (±0)
経常利益	86	Δ54.8% (Δ105)	+23.8% (+16)	133	+18.5% (+20)	Δ11.1% (Δ16)	220	Δ27.8% (Δ84)	±0% (±0)
四半期純利益	23	Δ74.8% (Δ70)	+18.0% (+3)	76	+4,298.9% (+74)	Δ4.5% (Δ3)	100	+4.7% (+4)	±0% (±0)

(注) 修正計画は11月10日発表

## (2) セグメント別業績見通し



(単位:億円)

		11年度								
		上期			下期 (修正計画)			通期 (修正計画)		
			前年 同期比	当初 計画比		前年 同期比	当初 計画比		前年 同期比	当初 計画比
食品	売上高	4,905	Δ2.4% (Δ120)	+3.2% (+149)	5,031	+3.5% (+168)	Δ0.3% (Δ13)	9,937	+0.5% (+48)	+1.4% (+136)
	営業利益	26	Δ79.6% (Δ103)	Δ31.7% (Δ12)	108	+17.0% (+15)	+9.5% (+9)	135	Δ39.5% (Δ88)	Δ2.1% (Δ2)
医薬品	売上高	585	+1.0% (+5)	+1.5% (+8)	660	Δ0.3% (Δ1)	Δ3.1% (Δ21)	1,245	+0.3% (+2)	Δ1.0% (Δ13)
	営業利益	43	Δ10.6% (Δ5)	+208.6% (+29)	29	+7.9% (+2)	Δ46.3% (Δ25)	72	Δ4.0% (Δ3)	+6.2% (+4)
連結合計	売上高	5,481	Δ2.1% (Δ116)	+4.0% (+211)	5,679	+3.0% (+166)	+0.3% (+19)	11,160	+0.5% (+49)	+2.1% (+230)
	営業利益	74	Δ58.9% (Δ106)	+34.8% (+19)	136	+14.1% (+16)	Δ12.3% (Δ19)	210	Δ29.9% (Δ89)	±0% (±0)

# (3) 食品 セグメント 業績見通し



(単位:億円)

		11年度								
		上期			下期			通期		
			前年 同期比	当初 計画比	(修正計画)	前年 同期比	当初 計画比	(修正計画)	前年 同期比	当初 計画比
食品	売上高	4,905	Δ2.4% (Δ120)	+3.2% (+149)	5,031	+3.5% (+168)	Δ0.3% (Δ13)	9,937	+0.5% (+48)	+1.4% (+136)
	営業利益	26	Δ79.6% (Δ103)	Δ31.7% (Δ12)	108	+17.0% (+15)	+9.5% (+9)	135	Δ39.5% (Δ88)	Δ2.1% (Δ2)

(注) 修正計画は11月10日発表

## 計画のポイント

- 下期は通常ベースの売上確保をめざし、通期で前年同期並みへ
- 乳製品における品種構成の回復・広告宣伝費の圧縮、菓子での最需要期売上確保等により、健康栄養の利益減を補う

# (3) 食品 セグメント 業績見通し



## 食品セグメント内 各事業の業績見通し

(単位:億円)

		上期			下期 (修正計画)			通期 (修正計画)		
			当初 計画比	(参考) 前年 同期比		当初 計画比	(参考) 前年 同期比		当初 計画比	(参考) 前年 同期比
乳製品	売上高	2,900	Δ0.2% (Δ6)	Δ7%	2,837	Δ0.4% (Δ10)	+1%	5,737	Δ0.3% (Δ17)	Δ3%
	営業利益	16	Δ21.4% (Δ4)	Δ78%	55	+41.6% (+16)	+209%	71	+19.5% (+11)	Δ22%
菓子	売上高	1,455	+6.9% (+93)	+3%	1,545	Δ1.5% (Δ24)	+4%	3,001	+2.4% (+69)	+4%
	営業利益	6	+67.0% (+2)	Δ76%	30	Δ5.1% (Δ1)	Δ8%	37	+2.9% (+1)	Δ39%
健康栄養	売上高	595	Δ5.6% (Δ35)	Δ8%	639	Δ9.0% (Δ63)	Δ4%	1,235	Δ7.4% (Δ98)	Δ6%
	営業利益	2	Δ69.3% (Δ6)	Δ85%	20	Δ30.8% (Δ8)	Δ50%	22	Δ39.9% (Δ15)	Δ61%
その他	売上高	899	+8.9% (+73)	+8%	914	+4.8% (+42)	+10%	1,813	+6.8% (+115)	+9%
	営業利益	Δ2	— (Δ7)	— (Δ9)	7	— (+8)	+129%	4	+18.5% (+0)	Δ53%



# (3) 食品 セグメント 業績見通し



## ① 乳製品事業 (牛乳類、ヨーグルト、飲料、チーズ、バター、業務用乳製品等)

(単位:億円)

	11年度								
	上期	下期 (修正計画)			通期 (修正計画)				
		当初 計画比	(参考) 前年 同期比	当初 計画比	(参考) 前年 同期比	当初 計画比	(参考) 前年 同期比		
売上高	2,900	Δ0.2% (Δ6)	Δ7%	2,837	Δ0.4% (Δ10)	+1%	5,737	Δ0.3% (Δ17)	Δ3%
営業利益	16	Δ21.4% (Δ4)	Δ78%	55	+41.6% (+16)	+209%	71	+19.5% (+11)	Δ22%

### 計画のポイント

- 主力ブランドにマーケティング活動を集中
- 構造改革によるコスト削減

(注1)修正計画は11月10日発表

(注2)当初計画値および実績ともに、消去前の単純合算数値

(注3)食品セグメント下の各事業の業績については、

今第2四半期より当社試算に基づき【参考前年同期比】を追加

※P.16～23まで上記の注意事項は同一とする

# |(3) 食品 セグメント 業績見通し



## ① 乳製品事業： 下期の取り組み

### 市乳

- 「明治おいしい牛乳」の認知率向上：  
TVCM・店頭施策の連動によるマーケティング活動実施
- 「ヨーグルト」の販売強化
  - ・ブルガリアシリーズ： 「特定保健用食品」としての機能的価値の訴求
  - ・LG21： コミュニケーション活動強化による、既存顧客確保と新規顧客獲得



### 乳食品

- 「明治北海道十勝チーズ」シリーズの売上拡大
  - ・「スマートチーズ」の店頭販促強化によるトライアルの拡大
  - ・「ボーノチーズ」の販売エリア拡大
- マーガリン「オフスタイル」(3月新発売)の育成強化：  
取扱店率の拡大、認知度アップを図り、トップブランドを目指す



# （3）食品 セグメント 業績見通し



## ①乳製品事業： 主力ブランド売上高

（単位：億円）

	11年度					
	上期	前年同期比	下期 (修正計画)	前年同期比	通期 (修正計画)	前年同期比
おいしい牛乳	247	△7.5%	239	+2.1%	487	△3.0%
ブルガリア	332	△5.4%	323	+2.5%	655	△1.7%
LG21	150	△14.4%	162	+6.2%	313	△4.8%
宅配商品	205	△6.1%	207	△0.4%	413	△3.4%
明治北海道 十勝シリーズ	51	△5.5%	56	+2.4%	107	△1.5%

# (3) 食品 セグメント 業績見通し



## ②菓子事業 (チョコレート、ガム、キャンデー、輸入菓子、アイスクリーム、スイーツ、業務用製菓・食材)

(単位: 億円)

	11年度								
	上期	下期			通期				
		当初計画比	(参考)前年同期比	(修正計画)	当初計画比	(参考)前年同期比	(修正計画)	当初計画比	(参考)前年同期比
売上高	1,455	+6.9% (+93)	+3%	1,545	Δ1.5% (Δ24)	+4%	3,001	+2.4% (+69)	+4%
営業利益	6	+67.0% (+2)	Δ76%	30	Δ5.1% (Δ1)	Δ8%	37	+2.9% (+1)	Δ39%

### 計画のポイント

- チョコレートの最需要期における売上・利益獲得
- アイスクリームのラインアップ強化

# |(3) 食品 セグメント 業績見通し



## ②菓子事業： 下期の取り組み

### チョコレート

- 冬期限定商品を中心に商品・施策を充実
- クリスマスからバレンタインまでの最需要期に板チョコを拡販



### アイスクリーム

- 「エッセル」季節限定商品の徹底配荷
- 関西アイスクリーム工場本格稼働：  
「チョコレートアイスクリームバー」「ミルクチョコレートカップ」を拡販
- 菓子・乳製品の技術を融合：  
12月5日発売 食感が変わるデザート「ドレア」



# (3) 食品 セグメント 業績見通し



## ③健康栄養事業 (スポーツ栄養、健康機能、食品、OTC、流動食、病態食、粉ミルク等)

(単位:億円)

	11年度								
	上期	下期			通期				
		当初 計画比	(参考) 前年 同期比	(修正計画)	当初 計画比	(参考) 前年 同期比	(修正計画)	当初 計画比	(参考) 前年 同期比
売上高	595	Δ5.6% (Δ35)	Δ8%	639	Δ9.0% (Δ63)	Δ4%	1,235	Δ7.4% (Δ98)	Δ6%
営業利益	2	Δ69.3% (Δ6)	Δ85%	20	Δ30.8% (Δ8)	Δ50%	22	Δ39.9% (Δ15)	Δ61%

### 計画のポイント

- 需要喚起のため店頭販促の更なる強化と普及活動の充実
- プロダクトミックス改善による利益回復

# |(3) 食品 セグメント 業績見通し



## ③健康栄養事業： 下期の取り組み

### 健康

- 「アミノコラーゲン」「イソジン」  
需要期に向けた、情報発信強化
- 「ザバス」「ヴァーム」  
スポーツイベントへの協賛、サンプリングの実施



### 栄養

- 粉ミルク
  - ・店頭販促実施による売上の回復
  - ・「らくらくキューブ」拡販による収益性向上
- 流動食の商品ラインアップ充実と営業活動の強化



# (4) 医薬品 セグメント 業績見通し



(単位:億円)

		11年度								
		上期			下期			通期		
			前年 同期比	当初 計画比	(修正計画)	前年 同期比	当初 計画比	(修正計画)	前年 同期比	当初 計画比
医薬品	売上高	585	+1.0% (+5)	+1.5% (+8)	660	Δ0.3% (Δ1)	Δ3.1% (Δ21)	1,245	+0.3% (+2)	Δ1.0% (Δ13)
	営業利益	43	Δ10.6% (Δ5)	+208.6% (+29)	29	+7.9% (+2)	Δ46.3% (Δ25)	72	Δ4.0% (Δ3)	+6.2% (+4)

(注) 修正計画は11月10日発表

## 計画のポイント

- 「メイアクト」好調維持、「リフレックス」「オラペネム」の伸長
- ジェネリック医薬品 (GE) は抗菌薬に加え、生活習慣病薬に期待
- 新薬・GEの伸長による増収、原価低減等のコスト削減





# (5) 連結営業利益 増減分析(下期)



(単位:億円)

	下期 修正計画	(セグメント内訳)			当初計画
		食	薬	他	
2010年度 下期	119	93	27	Δ1	119
売上変動由来	+11(注2)	+5	+6	—	+9
原材料調達コスト	Δ9	Δ9	—	—	Δ3
広告宣伝費	Δ9	Δ9	—	—	Δ12
減価償却費	Δ4	Δ6	+2	—	Δ2
その他	+0(注3)	+1	+1	Δ2	Δ9
コスト増減	+14(注4)	+20	Δ6	—	+27
連結子会社	+14	+14	—	—	+26
2011年度 下期	136	109	30	Δ3	155

(注1)修正計画は11月10日発表

(注2)主な内訳: 【食品】売上増による利益増+10 品種構成悪化Δ5  
【薬品】売上増による利益増+6

(注3)主な内訳: 【薬品】研究開発費+11 戦略投資増Δ11 為替+1

(注4)主な内訳: 【食品】生産効率化+13 販促費効率化+13 物流コストΔ1 その他Δ5  
【薬品】原価率改善+9 販売費増Δ15

# (5) 連結営業利益 増減分析(通期)



(単位:億円)

	通期 修正計画	(セグメント内訳)			当初計画
		食	薬	他	
2010年度	299	223	75	1	299
売上変動由来	△46 (注2)	△60	+14	—	△41
原材料調達コスト	△32	△32	—	—	△18
広告宣伝費	△8	△8	—	—	△27
減価償却費	△6	△8	+2	—	△4
その他	△17 (注3)	△6	△12	+1	△39
コスト増減	+14 (注4)	+20	△6	—	+27
連結子会社	+6	+6	—	—	+13
2011年度	210	135	73	2	210

(注1)修正計画は11月10日発表

(注2)主な内訳: 【食品】 売上減による利益減△24 品種構成悪化△36  
【薬品】 売上増による利益増+14

(注3)主な内訳: 【食品】 事業再編関連費用△3 その他△3

【薬品】 研究開発費+4 戦略投資増△11 為替△3 その他△2

(注4)主な内訳: 【食品】 生産効率化+19 販促費効率化+19 物流コスト△12 その他△6

【薬品】 原価率改善+11 販売費増△17



### 3. 「2020ビジョン」の達成に向けて

# |(1)「2020ビジョン」の概要



## 【ビジョン策定時の経営環境認識\*】

### 1. 国内総人口の減少と少子・高齢化

- ①顧客ニーズ・価値観・  
ライフスタイルの多様化
- ②安全・安心への意識の高まり
- ③健康志向の高まり
- ④医療制度改革

### 2. グローバル化の進展・新興国の成長

- ①人口爆発・経済成長により  
急伸する中国等の海外市場攻略  
(ビジネスチャンスおよび競争の激化)
- ②国内外における  
原材料争奪戦のリスク

\*「2020ビジョン」は、2010年9月14日に発表

## 「2020ビジョン」ゴール(イメージ)

売上高 1兆5,000億円  
営業利益率 5%以上

◆ ROE: 10%以上 ※当期純利益ベース

20年度 売上高	
株式会社 明治 菓子／乳製品／健康栄養／海外	1兆3,000億円
Meiji Seika ファルマ株式会社 医療用医薬品 ／生物産業(農薬・動物薬)	2,000億円
合計	1兆5,000億円

# (2)【食品】菓子・乳製品事業の新たな展開



2020年度までにトータルで 8,000億円以上の事業規模確立へ  
 (09年度 菓子約2,500億円 乳製品約4,700億円)



## アイスクリーム

(菓子ブランドアイスの展開)



9月19日発売

チョコとアイスの技術を結集



## チルド・

## フローズンデザート



12月5日発売予定

食感が変わるデザート

「ドレア」



▼関西アイスクリーム工場  
 (2011年5月稼動開始)



# (2)【食品】健康栄養事業の新たな展開

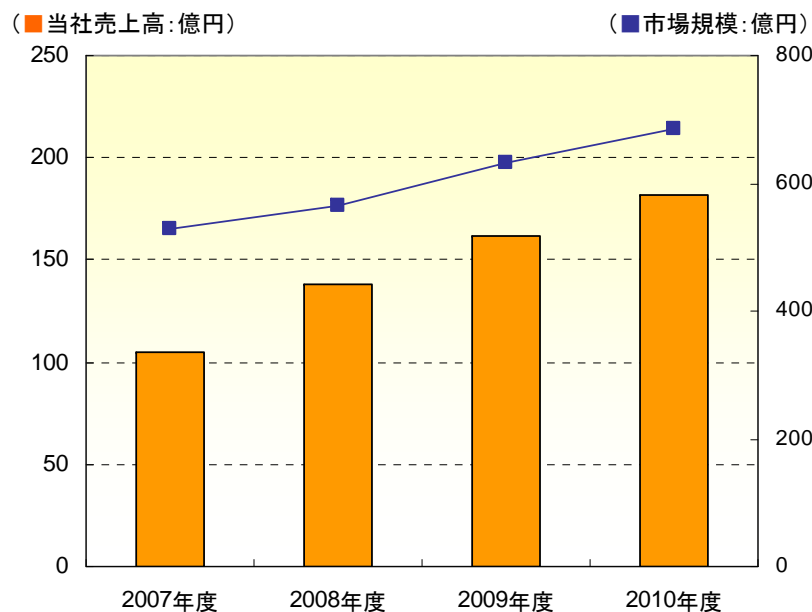


2020年度までに 2,000億円以上の事業規模確立へ  
(09年度 約1,200億円)



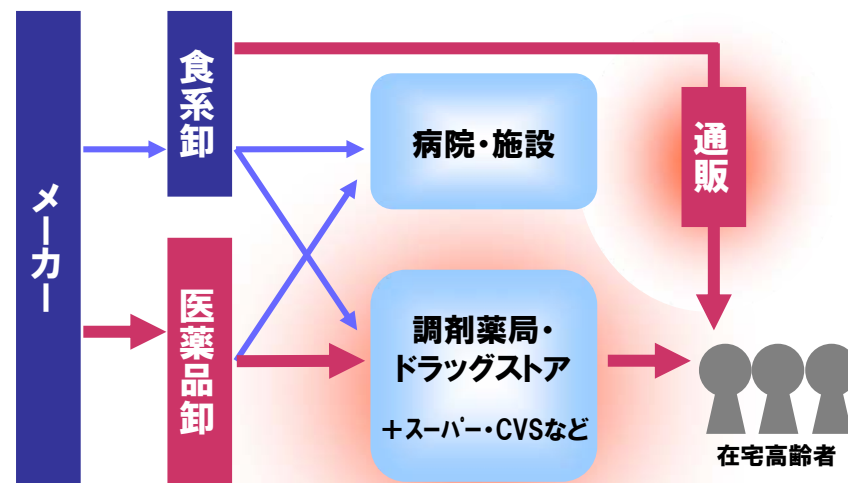
店頭

〈流動食売上高推移〉



10年度市場規模 700億円(当社推定)  
シェア第2位

## ◆ ドラッグストアの健康食品売場への展開拡大



( → ) 拡大見込みの流通経路

当社製品取扱店舗数  
11/3月 1,800店 → 12/3月 5,000店(見込)

# 【(2)【食品】海外事業の新たな展開



2020年度までに 1,500億円規模の事業確立へ  
(09年度 約500億円)

中国		アジア		米国	
「2020ビジョン」発表					
強化事業	新規参入構想事業	強化事業	新規参入構想事業	強化事業	新規参入構想事業
菓子・アイスクリーム コナミルク・健康食品	乳製品	菓子・乳製品 コナミルク・健康食品	アイスクリーム	菓子	健康食品
当期の取り組み					
<p>●4月27日 リリース <b>明治乳業(蘇州)有限公司設立</b></p> <p>①2013年1月を目途に、 上海など大都市向けに 製造販売開始</p> <p>②チルド(冷蔵)タイプの 牛乳やヨーグルトを製造販売</p>  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; bottom: 0;">完成予想図</p>		<p>●5月19日 リリース <b>CP-メイジ(タイ)</b></p> <p>5カ年計画を策定 計画に基づき生産体制を整備</p>  <p style="text-align: center;">CP-メイジ</p> <p>●<b>メイジ・インディア(インド)設立</b> 菓子・健康食品の マーケティング活動開始</p>		<p>●「<b>meiji</b>」ブランド (チョコレート菓子)の 売上拡大策を推進</p>  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; bottom: 0;">展示会風景</p> 	

## ■ (3)【医薬品】事業拡大に向けた取り組み

meiji

『スペシャリティ&ジェネリック・ファルマ』として、  
2020年度に2,000億円以上の事業規模確立へ

### 新薬事業

得意の感染症・中枢神経系領域に加え、抗がん・バイオ医薬を強化

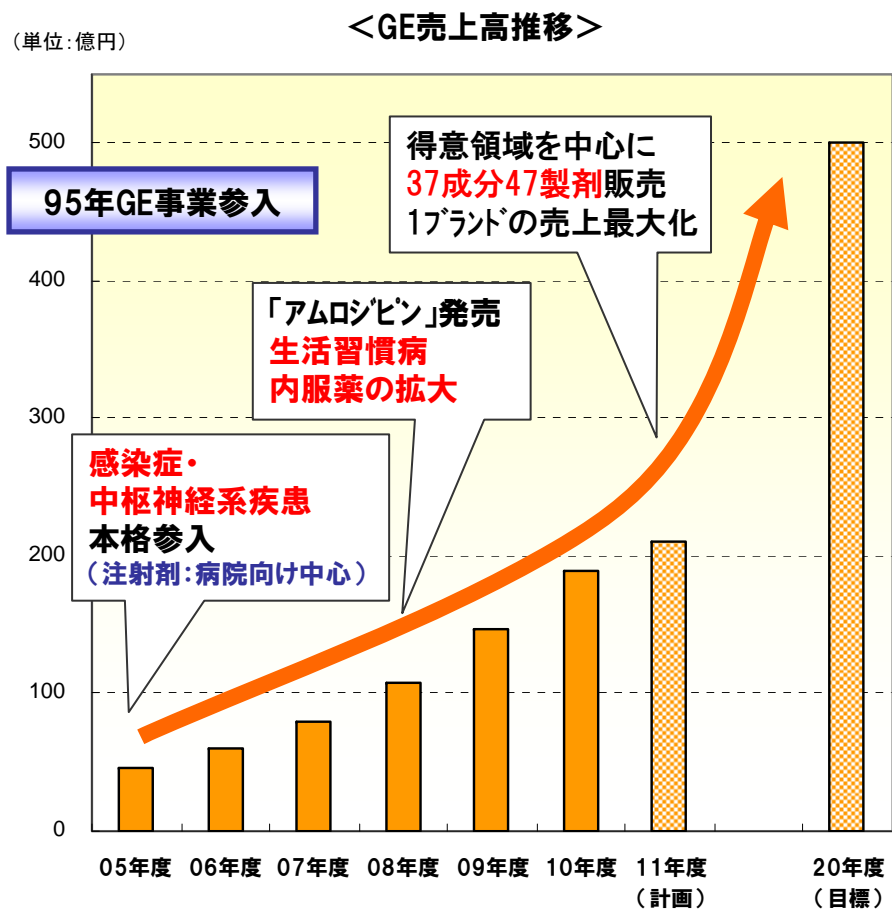
- ◆ 感染症領域・中枢神経系領域に加え、満足な治療法や治療薬の無い新領域（がん・バイオ医薬品等）の研究開発力を強化
- ◆ 感染症領域・中枢神経系領域での新薬開発・ライフサイクルマネジメント開発のスピードアップ（抗菌薬・統合失調症治療薬等）
- ◆ 小児科・耳鼻咽喉科・精神科での製品ラインナップ拡充（得意領域での売上拡大）
- ◆ 中枢神経系領域を中心に、MR増員による営業体制の継続的強化（リフレックスおよび統合失調症などの新薬の売上最大化）



# (3)【医薬品】事業拡大に向けた取り組み



## ジェネリック医薬品事業



### 大型生活習慣病薬の販売強化

- ◆ 感染症・中枢神経系領域に加え、「ラベプラゾール」「ピオグリダゾン」「ドネペジル塩酸塩」など大型化の見込める生活習慣病薬の販売強化

### アライアンスにより

### 抗がん剤・バイオ後続品領域強化

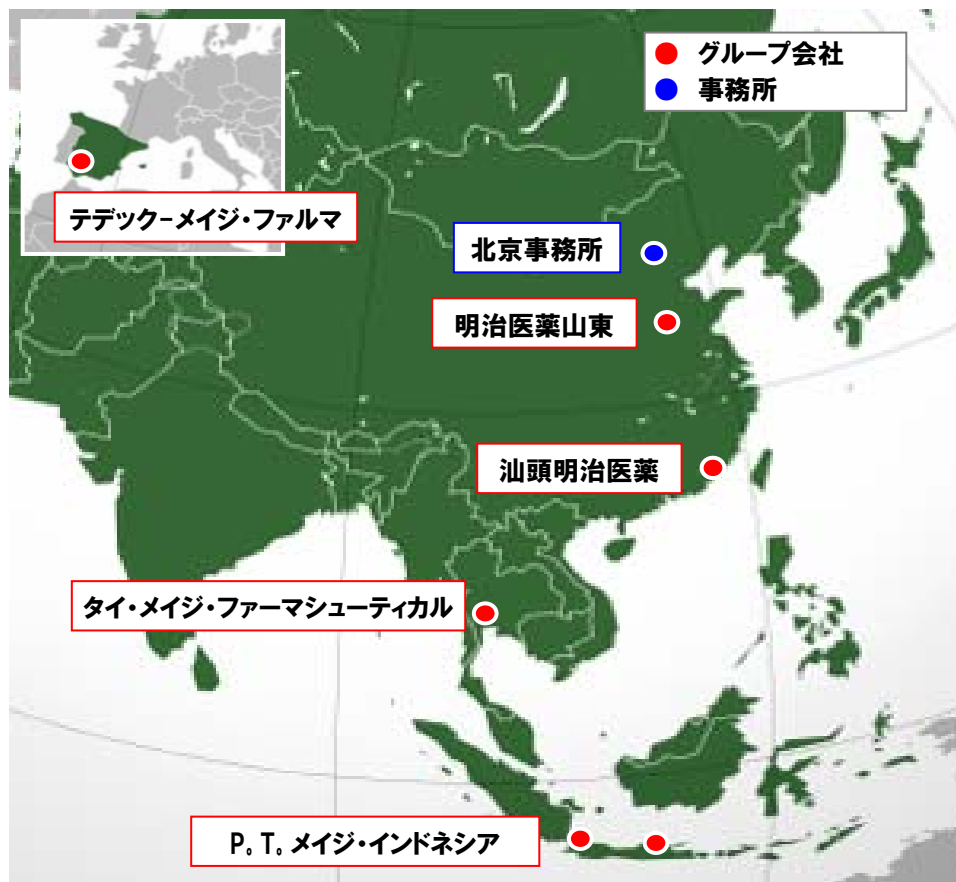
- ◆ 1月27日リリース 抗がん剤後発医薬品に関する フレゼニウスカービ社との戦略的提携
- ◆ 9月29日リリース バイオ後続品に関する 東亜製薬との戦略的提携

# (3)【医薬品】事業拡大に向けた取り組み



## 海外事業

### 海外グループ会社を中心とするアジア・新興国などの海外事業の積極拡大



- ◆ 生産体制の最適化・効率化による、  
高品質・安定供給・ローコスト  
オペレーション体制の構築  
(国内3工場・海外5工場の最適活用)
- ◆ アジア、および 新興国を中心とした  
低価格薬剤市場でのビジネス展開
  - 抗菌薬・ジェネリック医薬品、農薬、  
動物薬の積極的投入
  - 原薬製造から自社販売網構築までの  
バリューチェーンの確立

## |(3)【医薬品】事業拡大に向けた取り組み

meiji

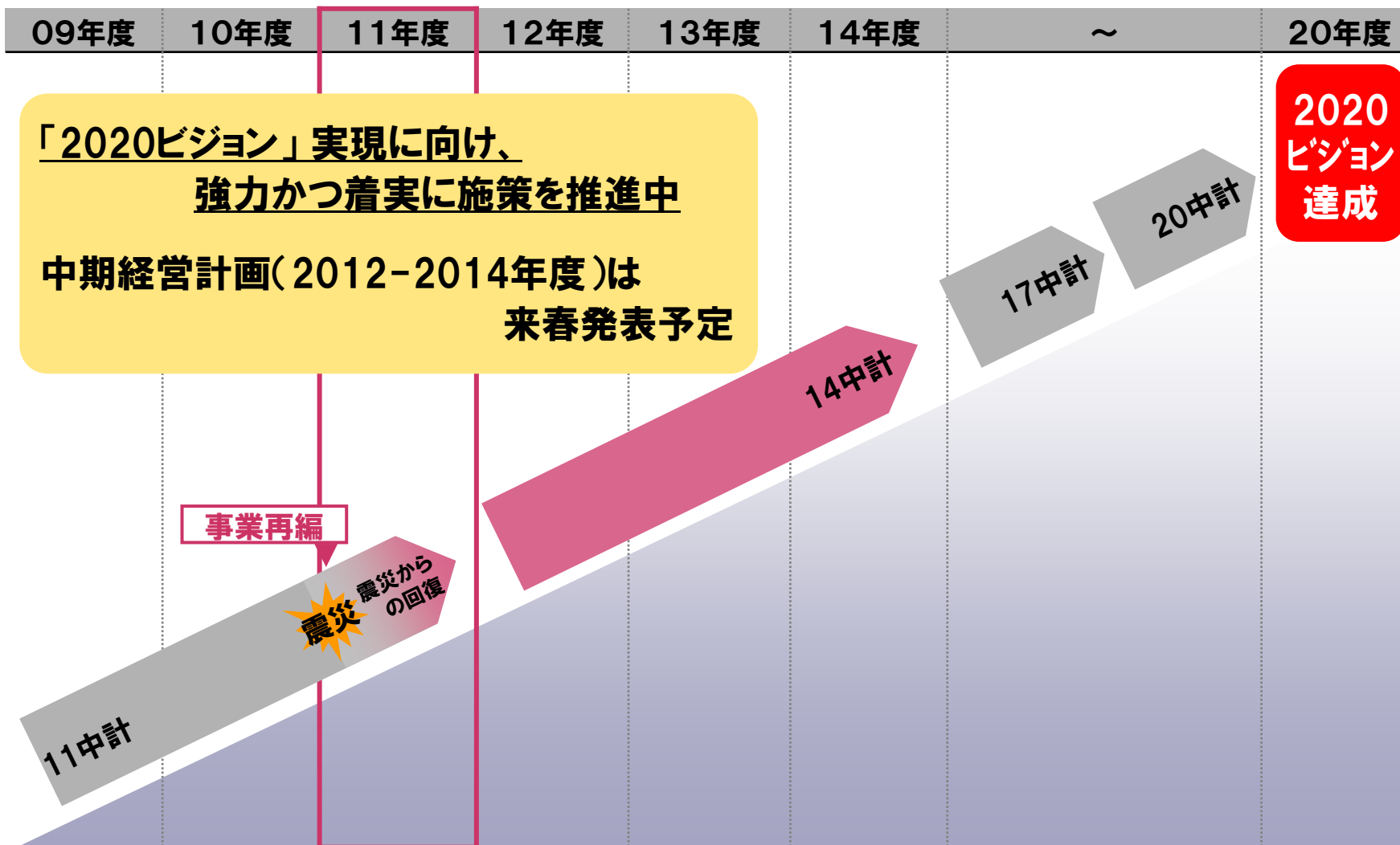
### 農薬事業

- ◆ 除草剤「ザクサ」の売上早期最大化
- ◆ 「オリゼメート」のいもち病防除シェアNo.1の維持
- ◆ 「オリゼメート」「ザクサ」の海外展開強化（韓国・台湾・中国）
- ◆ 自社創薬品のスケジュール通りの上市と導出推進による収益最大化

### 動物薬事業

- ◆ 国内コンパニオンアニマル市場での積極展開  
（製品ラインナップの充実、専任MRの配置）
- ◆ 国内産業用動物市場におけるシェア拡大  
（豚・鶏に加え、牛市場での売上拡大）
- ◆ アジア市場への本格参入

# (4)「2020ビジョン」実現に向けたロードマップ





**参考資料**

# (1) 連結損益計算書



(単位:億円)

	11年度 上期					
	当初計画	実績	当初計画比		前年同期比	
			(増減率)	(増減額)	(増減率)	(増減額)
売上高	5,270	5,481	+4.0%	+211	△2.1%	△116
売上総利益	—	1,790	—	—	△5.6%	△106
販管費	—	1,715	—	—	△0.0%	△0
営業利益	55	74	+34.8%	+19	△58.9%	△106
営業外損益	—	12	—	—	+8.2%	+0
経常利益	70	86	+23.8%	+16	△54.8%	△105
特別損益	—	△24	—	—	—	△6
税金費用等	—	37	—	—	△52.6%	△41
四半期純利益	20	23	+18.0%	+3	△74.8%	△70

(注) 当初計画は5月12日発表

## |(2) 連結貸借対照表

meiji

(単位:億円)

11年度上期	実績	期首比	前年同期比
流動資産	3,092	+75	△22
現金及び預金	114	△102	△28
売掛債権	1,502	+38	△33
たな卸資産	1,149	+98	+21
その他	325	+41	+18
固定資産	4,262	+79	+87
有形固定資産	3,167	+30	+69
無形固定資産	94	△2	△0
投資その他の資産	1,000	+52	+17
資産合計	7,355	+155	+64

(注)有利子負債残高には割引手形を含む

11年度上期	実績	期首比	前年同期比
流動負債	3,091	△78	+74
買掛債務	1,012	+90	+16
金融債務	1,140	+38	+113
その他	938	△51	△54
固定負債	1,311	+60	+30
金融債務	919	+50	△21
その他	391	+9	+51
負債計	4,403	+138	+104
株主資本	2,921	+4	△24
その他	+30	+12	△16
純資産計	2,951	+16	△40
負債・純資産合計	7,355	+155	+64

有利子負債残高	2,064	+89	+92
---------	-------	-----	-----

# （3）連結包括利益計算書



（単位：億円）

11年度上期	
少数株主損益調整前四半期純利益	24
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2
繰延ヘッジ損益	△5
為替換算調整勘定	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0
その他の包括利益合計	1
四半期包括利益	25
（内訳） 親会社株主に係る四半期包括利益	23
少数株主に係る包括利益	2



## ■ (4) 連結財務指標とキャッシュフロー

meiji

(単位:億円)

	10年度 上期	10年度	11年度 上期
1株当たり利益(EPS)	127円26銭	129円63銭	32円03銭
自己資本利益率(ROE)	3.3%	3.3%	0.8%
営業活動によるCF...(1)	298	579	62
投資活動によるCF...(2)	△189	△324	△227
財務活動によるCF	△125	△195	45
現金及び現金同等物の期末残高	142	217	112
フリー・キャッシュ・フロー...(1)+(2)	+108	+255	△164

# （参考）11年度 キャッシュフロー見込み



（単位：億円）

	11年度					
	上期	前年同期比	下期 (計画)	前年同期比	通期 (計画)	前年同期比
営業活動によるCF...(1)	62	△236	344	+63	406	△173
投資活動によるCF...(2)	△227	△38	△176	△42	△403	△80
財務活動によるCF	45	+170	△150	△80	△105	+90
現金及び現金同等物の 期末残高	112	△30	130	△87	130	△87
フリー・キャッシュ・フロー ...(1)+(2)	△164	△274	168	+21	3	△253

●社債発行について:

【格付】A+ (JCR)

9月16日 200億円 (5年債) 利率 0.485%

150億円 (7年債) 利率 0.760%

# |(5) 配当について

	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間	期末(予想)	年間(予想)	
	円 銭	円 銭	円 銭	%
11年度	40.00	40.00	80.00	58.9

## ※株主優待寄贈11年度実績

- ・寄贈にご賛同を得た株主様 約4,500名
- ・株主様からの寄贈相当金額 約1,200万円

明治HDから同額相当分をあわせ、総額約2,400万円相当分の菓子を全国の障害のある児童の支援団体、東日本大震災の被災地区へ寄贈



四ツ倉学童クラブ(福島)の皆さま

# （6）設備投資額、減価償却費、研究開発費



（単位：億円）

	11年度 上期		備考
	食品	医薬品	
設備投資額	198	25	支払いベース(リース含む)
減価償却費	182	24	有形固定資産(リース含む)
研究開発費	108	61	

## 主な設備投資の内訳

セグメント	内容	上期実績
食品	【明治油脂(株)】新マーガリン工場	12億円
	【(株)明治】関西アイスクリーム工場建設	10億円
医薬品	【P.T. メイジ.インドネシア】製造設備	12億円



- 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

